

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	長野県			代表者名	阿部 守一
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	DX推進課	連絡先電話番号	026-235-7072
担当者役職	主査	担当者氏名	吉澤行宣	連絡先E-mail	
住所	380-8570 長野県長野市南長野幅下692-2				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名(予定)	データ利活用に適した環境形成への理解を深める勉強会
概要	県内市町村と共にデータ利活用を進めるための機運を醸成すべく、勉強会を実施する。この勉強会にて、データ利活用の必要性、そのために望ましい環境に関する内容の講師として登壇いただきたい。		
支援を求める分野	オープンデータ 人材(DX推進のための機運の醸成) その他		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年11月14日	講演(実地)	13時00分	15時00分	
			活動時間(分)	120	
2-2. 派遣場所	会場名	長野県庁 西201会議室		最寄駅	長野駅
	所在地	長野県長野市南長野幅下692-2		最寄駅からの交通手段	徒歩

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	大木 一浩
評価	よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	勉強会の講師としてご登壇いただきました。投影資料の内容は非常に高度でしたが、説明の際には分かりやすい例えなどもあり、頭にすっと入る内容でした。目指すべき将来像、そのために必要な環境の配置イメージ等も具体的に語っていただいたのが非常に好印象です。
アドバイザーへの要望事項	市町村向けのアンケートは11/25頃となっていますので、必要に応じてその結果の分析等にご協力いただければ幸いです。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	23人	
	属性 自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
人数	23	0	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	県はデータ連携基盤を運用しており、県内市町村に対し県基盤の説明と活用の提案をしていますが、有効なユースケースや活用イメージが足りず、活用を進めるための情報発信が不足しているのが現状です。なぜデータ連携基盤が必要なのかを語る上でも、説得力を欠いているのではないかと感じています。データ連携基盤については、今年度中に共同利用ビジョンを策定する必要があり、そのためにもデータ連携基盤に対する知識と理解を得る必要があります。
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	研修を通して、データ利活用及びデータ連携基盤に対する理解度の向上、県データ連携基盤の活用度の向上(連携先増加)を目標とします。別途市町村に対してアンケートを実施し、「データ連携基盤とはどういったものか」の理解が向上することを目指します。また、新たな連携先が8以上増加することを目指します。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	県が開催する勉強会に講師として登壇し、県内市町村に対してデータ利活用の必要性と、そのための環境形成に関する講義をしていただきました。当日参加は23市町村となりましたが、勉強会アーカイブ動画及び投影資料は県内市町村専用のWebサイトに掲載し、不参加の市町村にも見ていただいた上でアンケートの回答にご協力いただくよう依頼し、全ての市町村に内容が普及するよう努めています。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	市町村において、データ利活用の必要性、データ連携基盤とは何かといった知識を深めていただいたと思います。市町村向けのアンケートを実施している最中で、まだ回答数は9ですが、「あまり理解できなかった」と回答したのは1だけであり、概ね理解いただけたものと思います。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 11/25で市町村向けのアンケートを実施しています。目的が理解促進と連携先増加のため、すぐに具体的な成果物が出るものではないという認識です。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	11/25で市町村向けのアンケートを実施している最中ですので、その結果の分析等は持ち越しです。県データ連携基盤との連携先増加についても、これから効果が出てくる内容となりますので、現時点で解決とはならない認識です。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 11/25で市町村向けのアンケートを実施している最中ですので、その結果の分析はこれからです。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
4-4. 事業の最終的な目指す姿	市町村のデータ利活用及びデータ連携基盤に対する理解度が向上することで、適切に基盤とデータを利用することが可能となり、住民及び市町村の生活向上に資するサービス(地域福祉、防災対策など)の提供につながることを目指します。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

